

人事委員会議事録（第1626回）

1 開催日時

令和2年1月29日（水）14：15～15：00

2 開催場所

兵庫県人事委員会 審理室

3 会議に出席した者

委員	松田直人	委員長
	鈴木尉久	委員
	長尾真	委員
事務局職員	西村嘉浩	事務局長
	森本剛史	任用課長
	古川卓哉	給与課長
	門田高弘	任用課副課長兼総務審査班長
	小倉豊道	給与課副課長

開 会

第1号議案

議事録の承認を求める件

人事委員会議事録（第1625回）について審議の結果、原案どおり承認した。

第2号議案

採用選考試験（第2回）最終合格者決定の件

任用課長が、標記試験の最終合格者（案）を諮り、決定されれば1月31日に合格発表を行う予定であること等を説明し、審議の結果、原案どおり決定した。

第3号議案

社会人経験者採用試験筆記試験合格者決定の件

任用課長が、標記筆記試験の受験状況を報告したうえで、同試験合格者（案）を諮り、決定されれば1月31日に合格発表を行うこと等を説明し、審議の結果、原案どおり決定した。

（委員からの質問）

正規雇用されている者が合格者の概ね半分となっている。これらの者は就職氷河期とは関係ないのではないか。

（事務局）

今は正規雇用であるが、これまで非正規や転職を経験してきた者、就職氷河期の頃に

思うような職に就けなかった、いわゆる不本意採用の者も含まれている。

合格者の雇用形態は、「就職活動や経験の中で困難だったことに対してどのように取り組み克服してきたか」等をどの程度評価するかなど、エントリーシートの評定基準の定め方に影響される部分もある。今年度の選考結果を踏まえて見直すべき点は、来年度以降見直したい。

(委員からの意見)

人事委員会としては、法令に基づき採用試験を公平に実施することになるが、就職氷河期世代の非正規雇用の方については何とか頑張ってもらいたい。

(委員からの意見)

今回、1次試験合格者を採用予定者数の10倍程度と多くしているのはよいことだ。

報告事項 1

警察官採用試験（令和2年度）の実施

任用課長が、標記試験の実施予定について報告した。

(委員からの意見)

受験者確保のためにも、試験制度の変更で受験しやすくなったことを積極的にPRして欲しい。特に、受験者が少ない情報処理区分は積極的な広報が必要である。

報告事項 2

女性向け職員ガイダンスの実施

任用課長が、3月9日に予定している標記ガイダンスの内容等を報告した。

(委員からの意見)

今年度の採用試験ではガイダンス参加者の多くが受験したとのことなので、参加者と意見交換する職員には、この人のようになりたいと思ってもらえるような職員を選んで、受験者数の増加につなげて欲しい。

(委員からの質問)

定員を100名としているのはなぜか。

(事務局)

昨年度の実績や会場の収容人数の関係上、定員を100名としているが、定員を超える申込みがあれば、できるだけ柔軟に対応したい。

報告事項 3

任命権者が行った処分

任用課長が、教育委員会が行った5件の懲戒処分の内容及び理由を説明した。

閉 会